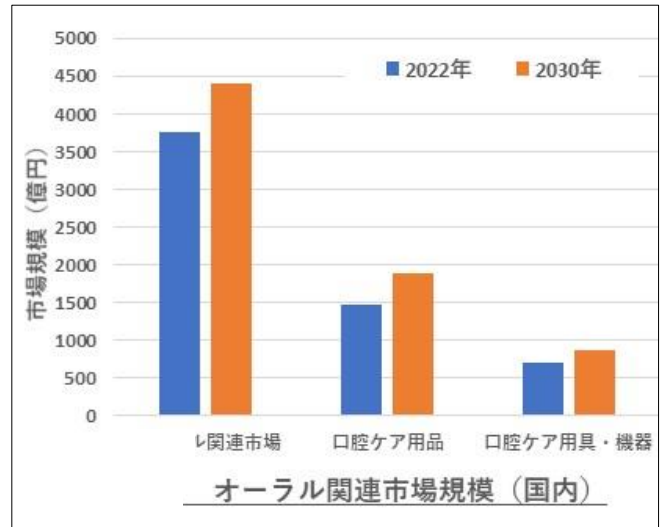


MBT NEWS LETTER

第304号
'24/10/01

奈良医大 柳生貴裕氏（口腔外科学講座 講師） 抜去歯を用いた研究テーマでKSAC-GAPファンドに採択

- ・国立研究開発法人科学技術振興機構（通称JST）のスタートアップ・エコシステム共創プログラムのプラットフォームである関西スタートアップアカデミア・コアリション（KSAC*¹）が実施の2024年度第1回KSAC-GAP（*²）ファンドに、奈良医大口腔外科学講座の柳生貴裕講師の応募の課題が採択されました。
- ・採択課題名は「マッチングプラットフォームを活用した抜去歯牙などの医療廃棄物の効率的利活用」です。抜去歯牙の手術検体は現在医療廃棄物として処理されていますが、本研究目的は、これらの有効活用を可能にするための安定供給システムを構築し、新たな市場開拓することにあります。今回の採択でJSTから1年間、1000万円の支援を受け、ビジネスの可能性を探る応用研究を実施します。JSTに承認され次第、スタートの予定です。
- ・2025年に日本政府が国民皆歯科検診制度の導入を検討しており、それが実施された場合、国内オーラルケア市場規模は、富士経済調べによると、2022年に3765億円のところが、2030年には4408億円（富士経済調べ）にまで市場が拡大する事が予想されています（右表）。
また、口腔の健康状態が全身の疾患に関連することが明らかになってきており、今後ますますオーラルケアの重要性が高まることが予想されます。さらには歯の美白需要も高まりつつあり、その市場の拡大も期待されています。
- ・ヒトの抜去歯牙は、これらの市場を支える研究素材として活用が期待されており、素材の安定供給が期待されているものです。
- ・本応募に向けてMBTは産学連携活動支援を行って来ました。



◆解説

* 1 関西スタートアップアカデミア・コアリション（KSAC）

関西の大学・産業界・金融界・自治体等70以上の機関が参画し、地域や組織を超えて連携を図り、人材・研究課題・資金の好循環をつくり、関西における起業家の裾野拡大、大学発スタートアップを連続的に創出していくことで、世界に伍するスタートアップ・エコシステムの構築をめざすプラットフォーム。詳細は <https://ksac.site/aboutus/>

* 2 KSAC-GAPファンド

事業化の可能性やグローバル展開が期待できるような大学の研究開発課題に対してGAPファンドを提供し、事業化に向けた支援を行う仕組み

発行

（一般社団法人）MBTコンソーシアム、
奈良県橿原市四条町840番地研究推進課内

（公立大学法人）奈良県立医科大学
担当 塩山

TEL : 0744-29-8853（直通）、FAX : 050-3164-5598、Email: mbt@mbt.or.jp